

自治体の役割は、安心・安全を守ること！ オスプレイ低空訓練反対、配備撤回を求める自治体キャラバン



大阪安保破棄諸要求貫徹実行委員会が進めている、オスプレイ低空訓練反対、配備撤回を求める自治体キャラバンがはじまり、4月18日には藤井寺市との懇談がおこなわれました。懇談には、大阪安保破棄の植田保二事務局長、大阪労連の鴻村博幹事はじめ、大阪自治労連、地元の藤井寺市職労はじめ民商、新婦人、革新懇などから11名が参加しました。藤井寺市からは松浦信孝副市長をはじめ担当課を含め3名が出席しました。

懇談の冒頭には、植田事務局長から要請の趣旨説明がおこなわれ、回答を手交されました。藤井寺市からの回答では、「…地元沖縄県民への十分な理解が得られないままに配備が行われたことに対しては、非常に残念な思いをいたしております。」「6ルートで行われることが計画されており、このオスプレイの安全性や周辺住民に与える影響について、大きな懸念が抱かれているところです。」とこの間の強引な動きに危惧を表明しています。懇談の中では、副市長からは、「国の課題という点もあるが、住民のくらしを守る地方自治の立場から対応していきたい。市長も、『今年度から全国市長会の理事となるので、そうした場で発信していきたい。また、平和市長会の会議に出席し、市民にも平和の課題を考えていくことを強めていきたい。』と話されました。懇談では、参加者から「国の課題として回答をされない自治体もあるなかで、回答、懇談を受けていただき感謝している、平和都市宣言をしている藤井寺市がもっと積極的に発信してほしい。」「八尾にある自衛隊の基地に、いつ危険なオスプレイが飛来するかわからない。空港に隣接している自治体として、住民のいのちとくらしを守る地方自治の本旨に基づいて、対応を強めて下さい。」など要望や発言がだされ、和やかな雰囲気の中で懇談は終わって行きました。

～すべての労働者にディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を～ 府下各地で宣伝行動



天王寺駅・大阪労連



長瀬駅・東大阪労連



西淀川区
西淀川労連

変えよう職場・地域と政治、勝ちとろう賃金・雇用・くらしの改善